

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	社会（歴史的分野）
----	-----------

発行者 略 称	教科書名	選定委員から付された意見
東 書	新編 新しい社会 歴史	・ 満遍なく、丁寧に、バランスのよい、わかりやすい構成となっている。 ・ 部落問題を取り上げており、人権学習に活用できる。 ・ ページの右端にある年表が、ページが進むにつれて見やすく進んでいくため、どこの時代で何を学ぶのかがわかりやすい。 ・ 人権についての学習内容が多く掲載されており、学びが広がる。 ・ 章末のまとめの活動が4 ページにわたっており、「年表で時代を振り返ろう」等、生徒が歴史のまとめを意識して学習ができる構成となっている。 ・ デジタルコンテンツが充実している。
教 出	中学社会 歴史 未来をひらく	・ 日本人の起源を取り扱っている。 ・ 人権問題について「全国水平社」など、同和問題などを取り入れて構成されている。 ・ 「LOOK!」「THINK!」「TRY!」の部分では子どもたちが自分で考え、学んでいく工夫がされている。 ・ 覚えるべき部分を見やすい太字にして掲載されており、教員・生徒ともに使いやすい。 ・ 各章末に学習のまとめのページが設定される中で、重要語句を確認できる年表等、学習の振り返りに適している。 ・ SDGs など現代的な課題を歴史の学習の中で取り上げているところが良い。 ・ 単元のタイトルが、「天下の台所」、「花開く町人文化」「繰り返される政治改革」、「内と外の危機」など、生徒の興味をひくものになっている。 ・ 非常にシンプルで、読みやすい内容構成になっている。
帝 国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	・ 生徒が自分で振り返りやすく、学習内容がチェックしやすい構成になっている。 ・ 「江戸時代の身分制度」を適切に表現しており、「水平社」など同和問題を学ぶことができる。 ・ 「タイムトラベル」のイラストが、生徒の興味をひくものになっており、教員にとって指導がしやすい。 ・ ページの中に、「未来に向けて」、「環境や技術」、「防災」等の記載があり、何について学ぶのかがわかりやすい。 ・ 「タイムトラベル」を活用した上で、章の振り返りが効果的に設定されている。 ・ 歴史の中で大切な人権についての内容が多く記載されている。 ※大半の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

山 川	中学歴史 日本と世界 改訂版	・ 学習の際、参考資料として活用ができ、情報量も多く良いが、対話的な学びという観点では、やや物足りない。 ・ 資料集としては活用に適しており、特に、日本史の部分については、資料内容は素晴らしいものが多い。 ・ 歴史上人物についての記載がやや物足りない。 ・ 高校の日本史として活用できるほど内容が豊富だが、中学校の教科書として、1時間の学習を見開きで完結させるのは難しい。 ・ 写真等の資料は豊富であるが、知識習得型の教科書で、文章が多く、文字も小さめで生徒によっては読みにくい。 ・ デジタルコンテンツがなく、加古川市の教育が大切になっている ICT を活用した学習という観点でみると課題がある。
日 文	中学社会 歴史的分野	・ 紙面の構成が整理されている。 ・ 「幕府政治の改革」等のタイトルが適切に設定されており、このページで何を学ぶのかがわかりやすい。 ・ 学習の課題として「めあて」が示されており、わかりやすい。 ・ 「水平社」が取り上げられており、人権を大切にした内容が多く記載されている。 ・ 地域教材として姫路（P120）が取り上げられており、生徒にとって、身近に感じられる内容で構成されている。 ・ 「先人に学ぶ」、「地域に学ぶ」など、小さなコラムがあり、興味の広がり期待できる部分が特徴的である。 ・ 単元の初めに年表を掲載しているページでは、合わせて地図を効果的に活用しており、世界との関係や日本の状況が表してあるのが効果的である。 ・ 地図を見ることで、世界を体感しやすい構成となっている。 ・ デジタルコンテンツが豊富で、年表が出てくるように設定されている。 ※複数の選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
自由社	新しい歴史教科書	・ シンプルな紙面構成になっており、読みやすい。 ・ 編で分けられることなく、最初から通し番号で単元が続いており、時代の流れがつかみやすい。 ・ 江戸時代の「三大改革」の内容比較が詳細に書かれていて良い。 ・ 紙面を割いて表現されている部分とそうでない部分の軽重があり、バランスが悪い。 ・ 兵庫県の地域についての記述がやや少ない。 ・ 日本の伝統や文化について、「古事記」、「日本書紀」の記載はあるが、播磨の国で有名な「風土記」については取り上げられていない。 ・ 多様性や SDGs など現代的な課題がほとんど取り上げられておらず、今の中学生には物足りない。 ・ デジタルコンテンツがなく、教科書だけで進めるには、難しい部分がある。

育鵬社	新しい日本の歴史	・ 章の最初に「鳥の目で見える」、「虫の目で見える」という題があり、タイムトラベラーのように時代をめぐり、生徒に興味付けさせようとしているところが良い。 ・ 特攻隊など平和学習を大切にした内容の記載がある。 ・ 文字情報が多く、やや見にくい。 ・ 各章の冒頭に絵巻があり、イラストを後ろの写真資料と置き換えられておれば、本文との関連がより意識しやすい。 ・ 章末のまとめでは、学習しやすい構成になっている。 ・ セーラー服と学生服のイラストは、今の加古川市にとっての多様性を取り入れた教育内容にはなっていない。 ・ デジタルコンテンツが少なく、全て NHK for School にリンクするものである。
令 書	国史教科書 第7版	・ 最後に掲載されている写真資料は美しく良い。 ・ 読み物としては多くの情報があり興味をひくが、教科書として生徒に教えるとなると活用しにくい。 ・ 文字が小さく、白黒のみで読みづらいため、歴史が難しいと感じてしまう生徒も出てくる可能性がある。 ・ 教科書というより、図書本という印象を受ける。 ・ タイトルが国史となっているところに特徴がある。 ・ 縦書きが読みにくいと感じる生徒がいる可能性がある。 ・ 内容量が多く、授業で取り扱うには難しい。 ・ デジタルコンテンツが1つだけあるが、承久の乱についての漫画につながる内容となっている。